

Python中級講座

様々な領域で使用されているpythonについて、スクレイピングを軸に諸々紹介する講座です。

はじめに



本講習ではpythonを扱います。

python言語はコードを、シンプルかつ直感的、かつ短く表現することを 目指しており、これに沿ったコードを **pythonicだ**(pythonらしいコーディングだ) と表現しているほどです。

このpythonicな文化が好まれて、pythonには多様なライブラリ、フレームワーク、ラッパーが存在します。大抵のやりたいことに対して、pythonで道具そのものが提供されたり、道具を使いやすく包んだラッパーが提供されています。(※)

本講習ではこのpythonの充実したライブラリ群の一部を紹介します。

(※)リアルタイム処理等、常にpythonを使うことが最適解とは限らない。

はじめに



pythonライブラリ、フレームワーク、ラッパー例

数学演算系(numpy)

機械学習(pytorch, scikit-learn)

ロボットの制御フレームワーク(ros)

組込み系の通信制御(シリアル通信、USB通信等)

ゲーム開発 (pygame)

クラウドAPI (google/twiter等)

データベース (sqlite3/mysql/sqlserver等)

データ集計 (pandas)

スクレイピング(beautifulsoup/scrapy)

グラフ描画(matplotlib)

サーバサイドWeb(flask)

デスクトップUI(qt)

講座で紹介する機能



本講習では「データ分析」の現場で使用されている技術「スクレイピング」を中心に、以下の機能を紹介します。

スクレイピング

スクレイピングとはWebサイトを解析して、自分の求めるデータを収集することです。 主な作業は「HTML構造の解析」と「テキストの抽出」です。

beautifulsoupといライブラリを使用します。簡単にスクレイピングできる scrapyというフレームワークもありますが、スクレイピングの本質を 理解するにはこちらが良いです。

クラウドAPI

YoutubeにはYoutubAPIが、TwitterにはTwitterAPIが存在し、いずれも「自社サービスへの協力」のために公開されているサーバ機能です。 人気動画や、フォロー/リツイート等を様々なサイトに埋め込んで宣伝して もらうことが主目的です。

講座で紹介する機能



これらのクラウドAPIでサイトから様々な情報を収集できます。

twitterの各アカウントもスクレイピングによってプロフィール、ツイート等を 収集できますが、そもそもtwitter社がスクレイピングを禁止しています。 (過去ツイートをきりなくスクレイピングされるとサーバ負荷があがるため)

このような「スクレイピングできないサイト」のためにクラウドAPIの 使用例を紹介します。

データ保存

収集データは一旦、データベースやyamlファイルの形式で保存します。 データはそのままでは数字の羅列に過ぎず、統計を取ったり、グラフ表示する ためには一旦保存するのが望ましいからです。

pythonはsqlite3, mysql, sqlserver, mongodb等様々なデータベースを扱えますが、クライアント・サーバシステムでなく、アプリに組み込める軽量データベースsqlite3を使用します。

講座で紹介する機能



データ集計

収集データを「このカラムの合計出して、平均値出して・・・」とかできますが、 そもそも、そういったことを自動でやってくれるデータ集計ライブラリpandasが あるのでそちらを使います。

pandasは辞書形式フォーマット(json, yaml)、csv、データベースファイル等の 様々なデータストリームを取り込み、いろいろ集計してくれます。

集計結果プロット(グラフ描画)

解析したデータを視覚化すると、より一層データの傾向が掴みやすくなります。 データをプロット(グラフ描画)するため、よく使用されるmatplotlibを使用します。

python文字列表記



pythonで文字列を扱う際、

print('hello, world')
print("hello, world")

上記のようにシングルクォート、ダブルクォートのどちらも使えますが、 英語キーボードでは、シングルクォートとダブルクォートは同じキーに割り当てられていて、ダブルクォートはシフト有りなので、アメリカではシングルクォートを使う人が多い、という傾向があるらしいので、本講習ではシングルクォートを使っていきます。

シングルクォートは数字の「7」キー + シフトキーです。

Python構文:正規表現



正規表現

「特定のパターンに一致する文字列」を発見、抽出する機能。 スクレイピングでは必須機能の一つ。Webページから抽出したテキストの中で、 実際に欲しいパラメータ、数値を取り出すために使う。

(例)

import re # 正規表現ライブラリ age = '永遠の17歳' re.search('[0-9]{1,5}歳', age)

実行結果

<_sre.SRE_Match object; span=(3, 6), match='17歳'>

正規表現の説明

[0-9] … 0から9までの数値を使用している。 {1,5} … 上記で指定した0-9までの数値が1~5個連続している。 歳…上記の後に文字「歳」が続く



以下の文字列から「身長」を正規表現を使って抜き出してください。

彼の体重は50kgだが、身長は180cmもある。

ターミナルで以下のように入力し、'xxx'の部分を上手く埋めて身長のみ抽出してください。

- >>>import re
- >>>text = '彼の体重は50kgだが、身長は180cmもある。'
- >>>re.search('xxx', text)

Python構文: リスト内包表記



python(pythonicな文化)では「繰り返し処理をなるべく直感的、かつ、短く」 記述しようとします。このために**リスト内包表記**が用意されています。

例えば以下のforループがあったとします。

for vtuber in vtuber_list:
 print(vtuber['name'])

vtuber_listという配列(Vtuberの名前格納)があり、配列から一個ずつデータを取り出して出力しています。

これがリスト内包表記を用いると、以下のようになります。

[print(vtuber['name']) for vtuber in vtuber_list]

Python構文: リスト内包表記



[print(vtuber['name']) **for** vtuber **in** vtuber_list]

[]はプログラム言語一般の処理として配列に使うものですが、 「配列 = 繰り返しデータが格納されている」ということから転じて、 「配列 = 繰り返し**処理ができ**る」という解釈がpythonでは実装されています。

リスト内包表記を応用すると、「年齢が17歳未満だけ」という条件付けも 1行で記述できます。

[print(vtuber['name']) **for** vtuber **in** vtuber_list **if** vtuber['age'] < 17]

Python構文:特殊メソッド



pythonの特殊メソッドはpythonの標準ライブラリと組み合わせて使う、 便利なメソッドです。

str 定義されたクラス変数を文字列のように扱える特殊メソッド。 (定義例) class A(object): def ___init___(self): self._name = "mano takashi" def __str__(self): return self._name (活用例) >a=A()>print(a) "mano takashi" Aクラスのインスタンスが「どんな情報を保持しているのか」簡単にdumpできます。

Python構文:特殊メソッド



iter イテレータを定義する。定義されたクラス変数を配列のように扱える特殊メソッド。 (定義例) class A(object): def ___init___(self): $no_list = [1, 2, 3]$ def ___iter___(self): for no in no_list: **yield** no else: raise StopIteration() (活用例) a = A()**for** no **in** a: <= for in 構文を使って、Aクラス内の配列を一つずつ処理できる。 print(a)



スクレイピングの際には、pythonにおける日本語処理(文字コード)について 少し知っておくと良いです。文字コード処理は大抵ライブラリが吸収してくれますが、 そうでないライブラリを使わざるを得ないケースもあります。

Unicode

python3の文字列型(str)はUnicodeで実装されています。文字列 = Unicodeです。

つまり、外部から渡される文字列がutf-8等の文字コードであれば、 それをUnicodeに変換する必要があります。

(文字列変数の例)

a = 'あ'

aという変数は文字列型(str)であり、Unicodeで実装されています。



unicodeは「世界中の文字をそれぞれ唯一の番号で採番してしまおう」という試みです。

(例)

$$'a' = 97$$

$$'\zeta' = 950$$

上記は「コードポイント」と呼ばれるunicodeが各文字に採番した番号です。 pythonでは、ord('a')のように、ライブラリ関数で取得できます。

一方、最近の文字コード標準となっているutf-8は以下のように表現されています。

'a' = 0x61

← asciiコードはそのまま

'あ' = 0xe3 0x81 0x82

← 日本語コードは3バイトで表現。

渡される文字列がutf-8形式であれば、unicodeに変換する必要があります。 utf8_text.decode('utf-8') ← utf-8形式のコードをデコード(unicode形式に変換)。



URLエンコードについて

WebページのURLにはURLエンコードという手法が使用されています。 従って、ブラウザのURL欄には以下のように表示されていても、



URLをコピペしてpythonプログラム中にペーストすると以下のようになります。

https://wikiwiki.jp/nijisanji/%E9%88%B4%E9%B9%BF%E8%A9%A9%E5%AD%90

この現象は、URLがマルチバイト文字(日本語等)を直接扱えないために発生します。



「鈴鹿詩子」は、utf-8において以下のコード列で表現されます。

E9 88 B4 E9 B9 BF E8 A9 A9 E5 AD 90

URLエンコードは自身では文字コードを定義していないので、渡されたコード列の 並びに%を付与してマルチバイト文字を表現します。

%E9 **%**88 **%**B4 **%**E9 ···

URLはこのURLエンコードで表現されますが、ブラウザで「鈴鹿詩子」と表示されるのは、ブラウザが画面描画時にこのURLエンコードをデコード (utf-8の文字に変換)しているからです。



実際にサンプル用のhtmlを使って、スクレイピングをしていきます。

VTuberとは?

バーチャルYouTuber(バーチャルユーチューバー)は
YouTuberとして動画配信・投稿を行う
コンピュータグラフィックスの日本発祥のキャラクター(アバター)、
またキャラクター(アバター)を用いて動画投稿・配信を行う人。

別名: VTuber、Vチューバー(ブイチューバー)。

<u>VTuber Wikiページ</u>



Webページの構造

スクレイピング:タグの参照と、テキストの抽出

タイトル(title)

VTuberとは?

見出し(h1)

バーチャルYouTuber(バーチャルユーチューバー)は

YouTuberとして動画配信・投稿を行う

コンピュータグラフィックスの日本発祥のキャラクター(アバター)、

またキャラクター(アバター)を用いて動画投稿・配信を行う人。

段落 (p)

別名: VTuber、Vチューバー(ブイチューバー)。

強調 (b)

<u>VTuber Wikiページ</u>

リンク (a)



ターミナルで以下のように実行してください。

- >>>from bs4 import BeautifulSoup
- >>>f=open('sample1.html', encoding='utf-8')
- >>>bs = **BeautifulSoup**(f.read(), 'html.parser')
- >>>bs

コードの説明

Webページの中身(sample.html)を渡してBeautifulSoup(以降BS)のインスタンスを生成すると、**Webページの解析が完了**する。

BSのインスタンスを使って、**HTMLのタグ構造にアクセス**できる。 上記例では解析したHTML全体にアクセスしている。



```
<html>
<head>
<title>スクレイピング:タグの参照と、テキストの抽出</title>
</head>
<body>
<h1>VTuberとは?</h1>
>
バーチャルYouTuber(バーチャルユーチューバー)は<br/>
YouTuberとして動画配信・投稿を行う<br/>
コンピュータグラフィックスの日本発祥のキャラクター(アバター)、<br/>
またキャラクター(アバター)を用いて動画投稿・配信を行う人。<br/>
<b>別名:VTuber、Vチューバー(ブイチューバー)。</b>
<br/><br/>
<a href="https://ja.wikipedia.org/wiki/バーチャルYouTuber">VTuber Wikiページ
</a>
</body>
</html>
```



- (1) HTMLタグ(タイトル)の参照
 - >>>bs.title
 - <title>スクレイピング:タグの参照と、テキストの抽出</title>

BSではメンバ変数でHTML内の各夕グにアクセスできます。

- (2) テキスト(タイトル)の抽出
 - >>>bs.title.**text**
 - 'スクレイピング:タグの参照と、テキストの抽出'

BSでは、textプロパティでタグ内のテキストのみ、抽出できます。

- (3) HTMLタグ属性(リンク)の参照
 - >>>bs.a['href']
 - 'https://ja.wikipedia.org/wiki/バーチャルYouTuber'

タグの属性(<a **href** = $\cdots>$ 等)は、各タグに辞書形式で格納されているため、a['href']のようにアクセスできます。



前ページを参考に、ページ内の見出し(h1)、強調表示(b)、段落(p)について、 タグ参照、テキスト抽出を実行してみてください。



今度はテーブルを含んだサンプルをスクレイピングしてみます。

VTuber:キズナアイ

プロフィール	
年齢	16歳
身長	156cm
体重	46kg
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

テーブル(table)



ターミナルで以下のように実行してください。

```
>>>f=open('sample2.html', encoding='utf-8')
>>>bs = BeautifulSoup(f.read(), 'html.parser')
>>>hs
<table bgcolor="#e3f0fb" border="1" style="border-collapse: collapse"
width="300px">
<caption><b>プロフィール</b></caption>
年齡16歳
身長156cm
体重46kg
```



```
<caption><b>プロフィール</b></caption>

年齢16歳
身長156cm
体重46kg
```

テーブルタグ(table)の中に、三つのレコード(tr)が格納されています。 レコードはヘッダ(th)とデータ(td)から構成されています。



(1) HTMLタグ(テーブル)の参照

- >>> bs.**table**
- <caption>プロフィール</caption>
- 年齡16歳
- 身長156cm
- 体重46kg

(2) テキスト(テーブル)の抽出

>>> bs.table.text

'¥nプロフィール¥n¥n年齢16歳¥n身長156cm¥n体重46kg¥n¥n'

テーブルからテキストを抽出すると、BSがテーブル構造をなぞって テキストに連結してくれます。これを文字列処理して必要データを 抽出することもOKです。



(3) HTMLタグ(レコード) の参照

>>> bs.table.**tr**

年齡16歳

テーブルの**最初のレコード**を返します。最初のレコードに 年齢データが格納されていることがあらかじめわかっているなら、

>>> bs.table.tr.td.text '16歳'

このように、直接VTuberの年齢をスクレイピングできます。 では身長データ(二つ目のレコード)にはどうやってアクセスできるのか?



(4) HTMLタグ(レコード) の検索

>>> bs.table.**find_all**('tr')

「年齡16歳,

身長156cm,

体重46kg]

find_all('タグ名')により、親タグ(ここではtable)下にあるすべてのタグを配列として返します。

従って以下の記述で直接、身長データをスクレイピングできます。

>>>bs.table.**find_all**('tr')[1].td.text '156cm'

find_allで返ってきた配列の**2番目**に身長レコードが格納され、その**td**タグのテキストを抽出すると身長データです。



前ページを参考に、キズナアイの体重データをスクレイピングしてください。



同じく、キズナアイの体重データをスクレイピングしてください。 ただし、体重データがテーブルのどこに格納されているかはわからないもの、 としてください。 ([2]のように、配列にベタアクセスするのはNG)



findを使わずに、キズナアイの体重データをスクレイピングしてください。



以下のように、二つ目のテーブルにだけアクセスしたい場合はどうすればよいでしょうか?

VTuber:キズナアイ

プロフィール

年齢	16歳
身長	156cm
体重	46kg

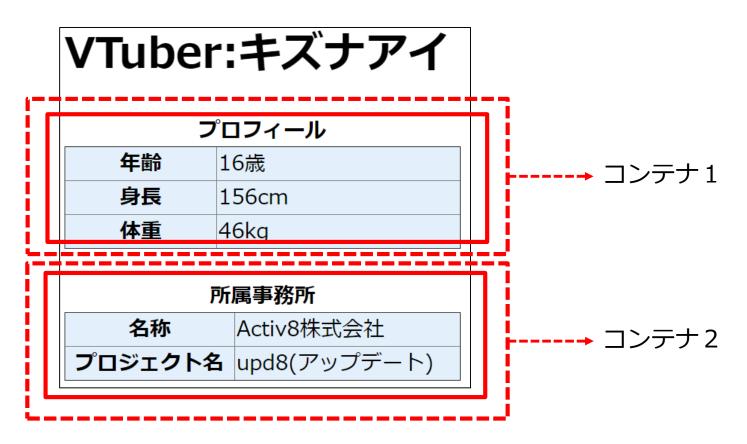
所属事務所

名称	Activ8株式会社
プロジェクト名	upd8(アップデート)

テーブル(table)



コンテナの利用



Webページでは、「この区画にはこういう情報が入ってるんだよ」ということを示す、コンテナ(divタグ)という目に見えない箱があります。

このコンテナの名前等で、目的のテーブルにだけアクセスすることができます。



ターミナルで以下のように実行してください。

- >>>f=open('sample3.html', encoding='utf-8')
- >>>bs = **BeautifulSoup**(f.read(), 'html.parser')
- >>>bs



```
<div class="profile">
<caption><b>プロフィール</b></caption>
年齡16歳
身長156cm
体重46kg
</div>
<div class="office">
<caption><b>所属事務所</b></caption>
名称Activ8株式会社
プロジェクト名upd8(アップデート)
</div>
```

スクレイピング:サンプル3



以下のように二つのテーブルが表示されています。

```
<div class="profile">
一つ目のテーブル
</div>
<div class="office">
二つ目のテーブル
</div>
```

アクセスしたいテーブルは、**属性class**が"office"であるコンテナに格納されており、 **属性検索**を使ってアクセスできます。

スクレイピング:サンプル3



従って、キズナアイの所属会社は以下のように直接スクレイピングできます。

>>> bs.**find**('div', **{'class':'office'}**).**table**.td.text 'Activ8株式会社'

課題6



キズナアイの所属プロジェクトをスクレイピングしてください。



課題7



コンテナが存在しない、かつ、二つ目のテーブルにプロジェクトがあると 分かっていない場合、どのようにプロジェクトをスクレイピングすれば よいでしょうか?

VTuber:キズナアイ				
プロフィール				
年齢	16歳			
身長	156cm			
体重	46kg			
所属事務所				
名称	Activ8株式会社			
	10/			

プロジェクト名 upd8(アップデート)

目的のテーブルを識別するものが 左の画面にあるので、それを使ってください。



今まで学んだことを使って、Vtbuberのランキングサイトから Vtuber名と順位、そして詳細ページへのリンクをスクレイピングしてみます。

ランキングライブ・動画	事務所別 🐧 VT	uberを検索				
- 急上昇 注目の新人 人気	えの動画 ファン数順	SHOWROOM	TikTok	bilibili	ランキン	ング掲載申請
ファン数	カー・ファン数急上昇		総再生回数			総再生回数急
	1	2 3	4	5		
1位 キズナアー [順位をツイー	ſ A.I.Channel 8 upd8 ├]		2	80,415,6	+476 ル 10 回 訪!	16年から活動を開始。はじ YouTuberを自称した。親分 日促進アンバサダー就任。u S援メッセージ]
2位 キズナアイ(ゲーム) A.I.Games 8 upd8 [順位をツイート]		1	38,902,3	+434 [//	ズナアイのゲーム専門チャ: 5援メッセージ]	
3位 輝夜月(かぐやるな) Kaguya Luna Official ✓ VIC [順位をツイート]			09 727 7	-83 Mil 34 回 見	17年の12月に開始し、話題 ka Pikazo氏デザイン。首紋 るストロングゼロといった』 S援メッセージ]	

スクレイピング: Vtuberランキング:ページ構造







まずは解析です。

- >>>import requests
- >>>html = requests.get('https://virtualyoutuber.userlocal.jp/document/ranking')
- >>>bs = BeautifulSoup(html.text, 'html.parser')

これで準備ができました。



名前のスクレイピング

テーブル(class属性 = table-ranking-yt) → レコード[0] → aタグ → imgタグ:alt属性

>>>bs.**find**('table', **{'class': 'table-ranking-yt'}**).**find_all**('tr')[0].**a**.img['alt'] 'キズナアイ'

順位のスクレイピング

テーブル(class属性 = table-ranking-yt) → レコード[0] → strongタグ

>>> bs.**find**('table', {'class': 'table-ranking-yt'}).**find_al**l('tr')[0].**strong**.text '1位'

詳細ページのスクレイピング

>>> 'https://virtual-youtuber.userlocal.jp' + bs.find('table', {'class': 'table-ranking-yt'}).find_all('tr')[0].a['href']



ランキングページ全体からスクレイピング

前ページは先頭のテーブル(キズナアイ)のみスクレイピングしましたが、 以下のようにすることでテーブル内全VTuberの名称をスクレピングできます。

>>> [tr.a.img['alt'] **for** tr **in** bs.**find**('table', {'class': 'table-ranking-yt'}).**find_all**('tr')]

['キズナアイ', 'キズナアイ(ゲーム)', '輝夜月(かぐやるな)', 'ミライアカリ', '電脳少女シロ', '田中ヒメ 鈴木ヒナ', '猫宮ひなた', '月ノ美兎', 'ヨメミ エトラ', '白上フブキ', '本間ひまわり', '道明寺ここあ', 'YuNi', 'ゲーム部プロジェクト', '夏実萌恵', '笹木咲', '湊あくあ', 'シフィ(シフィール・エシラー) 旧ベイレーン', '御伽原江良(おとぎばらえら)', '椎名唯華', 'ときのそら', '樋口楓', '静凛', '花譜(かふ)', '富士葵(ふじあおい)', 'キミノ ミヤ(MIYA KIMINO)', '夢月ロア(ゆづきろあ)', ' リゼ・ヘルエスタ', '緑仙(リューシェン)', '鈴鹿詩子', 'バーチャルおばあちゃん(VB)', '葛葉', '鈴原るる', 'にじさんじ公式', '犬山たまき', 'ハロー キティ', 'アンジュ・カトリーナ', '周防パトラ', '天神子兎音(てんじんことね)', 'マヤ・プトゥリ', '織田信姫', '夏色まつり', 'アルス・アルマル', 'バーチャル番組連盟', '赤井はあと', '馬犬', 'ベルモンド・バンデラス', '白銀ノエル(しろがねのえる)', 'ホロライブ公式', '竜胆尊(りんどうみこと)']



ランキングページ全体からスクレイピング

従って、ランキングページから「vtuber名、順位」のセットを以下のように 抽出できます。

```
>>>vtubers = [tr for tr in bs.find('table', {'class': 'table-ranking-yt'}).find_all('tr')]
```

- >>> profiles = []
- >>> **for** vtuber **in** vtubers:
- ... profiles.append((vtuber.a.img['alt'], vtuber.strong.text))

>>>params

[('キズナアイ', '1位'), ('キズナアイ(ゲーム)', '2位'), ('輝夜月(かぐやるな)', '3位'), ('ミライアカリ', '4位'), ('電脳少女シロ', '5位'), ('田中ヒメ 鈴木ヒナ', '6位'),…]

スクレイピング: Vtuber詳細



Vtuberランキングページの各Vtuberをクリックすると、Vtbuber詳細ページへジャンプします。このページから、所属オフィスと配信力(ファン数、総再生回数)をスクレイピングします。



スクレイピング:Vtuber詳細:ページ構造:所属オフィス





A.I.Channel

キズナアイ プライブ配信予定を登録

8 upd8

ファン数

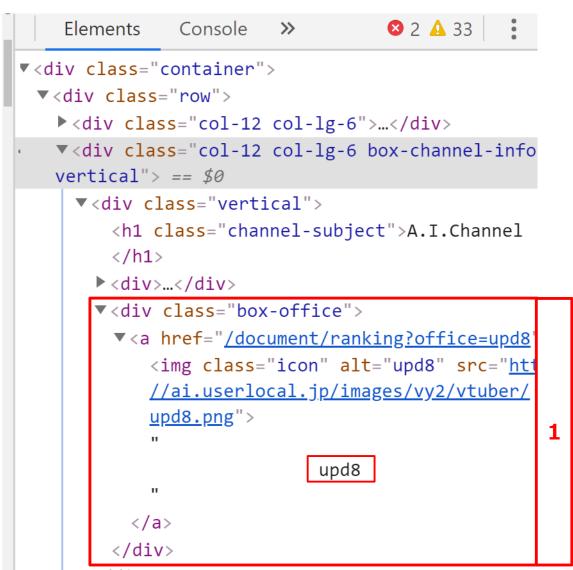
269万人

総再生回数

2億8057万8251回

Twitter

@aichan_nel



スクレイピング: Vtuber詳細:所属オフィス



まずは解析です。

```
>>>html = requests.get('https://virtual-
youtuber.userlocal.jp/user/D780B63C2DEBA9A2_fa95ae')
>>>bs = BeautifulSoup(html.text, 'html.parser')
```

これで準備ができました。

所属オフィスのスクレイピング

コンテナ(box-office)に直接テキストで格納されています。

```
>>> bs.find('div', {'class': 'box-office'}).text '\underset \underset \und
```

stripメソッドを使うと余分な空白や改行コードを取り除いてくれます。 >>> bs.**find**('div', {'class': 'box-office'}).text.**strip**() 'upd8'

スクレイピング:Vtuber詳細:ページ構造:配信力





スクレイピング:Vtuber詳細:配信力



ファン数のスクレイピング

コンテナ(box-channel-info)下に、複数のコンテナ('channel-stat')が格納されており、 ファン数はそのうちの一つです。

まず、複数コンテナの配列を取得する。

>>>bs.**find**('div', {'class': 'box-channel-info'}).**find_all**('div', {'class': 'channel-stat'})

ファン数はこの配列の一個目なので、

>>> bs.find('div', {'class': 'box-channel-info'}).find_all('div', {'class': 'channel-stat'})[0].text

'¥nファン数¥n269万人¥n'

改行等、余分なデータを取り払うには、

>>> bs.find('div', {'class': 'box-channel-info'}).find_all('div', {'class': 'channel-stat'})[0].text.**split('¥n')[2]**'269万人'

総再生回数は配列の二個目なので、上記同様にスクレイピングできます。

課題8



今まで試してきたことを総合して、ランキングページ、詳細ページから以下のように Vtuberプロフィールをスクレイピングしてください。

- ■スクレイピング対象 名前、順位、所属オフィス、フォロワー数、総視聴数
- ■出力形式 以下のように配列で出力してください。

[('キズナアイ', '1位', 'upd8', '269万人', '2億8368万1807回'), ('キズナアイ(ゲーム)', '2位', 'upd8', '142万人', '1億4051万9110回'), ('輝夜月(かぐやるな)',…]

データベース: 実装



スクレイピングした結果はデータベース等に記録します。

テーブル構造

名前:テキスト

所属: テキスト

フォロワー数:整数

総視聴数:整数

```
>>>import sqlite3
```

- >>> c = sqlite3.connect('test.db')
- >>> c.execute('CREATE TABLE vtuber(name TEXT NOT NULL UNIQUE, office TEXT, follower INTEGER, view INTEGER)')
- >>> c.execute('INSERT INTO vtuber(name, office, follower, view) VALUES("キズナアイ", "upd8", 2690000, 283505794)')
- >>> c.execute('COMMIT')
- >>> for v in c.execute('SELECT * FROM vtuber'):
- ··· print(v)

('キズナアイ', 'upd8', 2690000, 283505794)

データベース:コード説明



データベース制御で実施してるのは以下の二つのみです。 データベースに接続(connect)し、SQL文を実行(execute)する。

- 1. データベースへの接続(新規生成も兼ねる)
 - >>>import sqlite3
 - >>> c = sqlite3.connect('test.db')
- 2. データベースにテーブル作成
 - >>>c.execute('CREATE TABLE vtuber(name TEXT NOT NULL UNIQUE, office TEXT, follower INTEGER, view INTEGER)')
 NOT NULL…省略を許さない。UNIQUE…重複データを許可しない。
- 3. テーブルにデータ追加
 - >>>c.execute('**INSERT INTO** vtuber(name, office, follower, view) **VALUES**("キズナアイ", "upd8", 2690000, 283505794)')
 - >>> c.execute('**COMMIT**') ← 追加の場合、コミット必要。

データベース:コード説明



- 4. テーブル一覧取得
 - >>> for v in c.execute('SELECT * FROM vtuber'):
 - ··· print(v)
 - . . .

課題9



以下のデータを追加してみましょう。

名前:白上フブキ

所属:ホロライブ

フォロワー数:381000

総視聴数:35205441

データ集計:pandas:データフレーム作成



pandasによるデータ集計です。

データベースの項で説明したDBについて、ランキング上位30件分登録したものがあるので、それを使って pandasの機能を説明します。

まず、pandasにデータストリームを食わせます。

- >>> import sqlite3
- >>> import pandas as pd
- >>>
- >>> c = sqlite3.**connect**('vtuber.db')
- >>> df = pd.read_sql_query('SELECT * FROM vtuber', c)
- >>> pd.options.display.float_format='{:.2f}'.format

pandasはデータストリームを食わせると、**データフレーム**という独自の構造を 持ったインスタンスを生成します。このデータフレームを通じて、各種統計値、集計等 を処理できます。

最後はpandasの出力フォーマットを指定します。(指数表記がデフォなので、明示指定)

データ集計: pandas:全データdump



データフレームをそのまま出力すると、データフレーム内で管理している全データをダンプします。

>>> df

	name office follower
0	キズナアイ upd8 2690000
1	輝夜月 VIC 998000
2	ミライアカリ 元ENTUM 736000
3	電脳少女シロ .LIVE 705000
4	田中ヒメ鈴木ヒナ Unknown 547000
• • •	
28	葛葉 にじさんじ 232000
29	犬山たまき Unknown 230000

データ集計: pandas:統計出力

max 2690000.00 283505794.00



統計出力(describe)

```
>>> df.describe()
      follower
              view
      30.00 30.00
                          ← 件数
count
mean 446600.00 57213634.97 ← 平均値
   458979.20 54194338.53 ← 標準偏差
std
min 234000.00 563251.00 ← 最小値
25% 262250.00 30075874.50
                          ← 1/4分位数
50% 307500.00 41463078.00
                          ← 中央値
75% 411750.00 64993347.00
                          ← 3/4分位数
```

describeは自動的に各種統計量を計算してくれます。 ファン数、総視聴数それぞれについて出力されます。

Vtuber上位30件についていえば、平均フォロワー数が44万人であり、 平均的に累計8000万回、視聴されています。

← 最大値

データ集計:pandas:ユニーク値集計



ユニーク値の集計(value_counts)

各Vtuberがどのオフィスに所属するのか、その分布を計算します。

所属オフィス('office'カラム)は以下のように抽出できます。

```
>>> df['office']
```

0 upd8

1 VIC

2 元ENTUM

• • •

value_countsを使うと、ユニーク値の集計を行ってくれます。

>>> df['office'].value_counts()

にじさんじ 11

エイレーン一家 3

Unknown 3

upd8 3

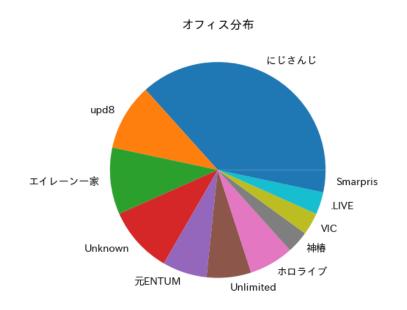
• • •

プロット: 円グラフ: オフィス分布



前項で集計したオフィス分布を円グラフにプロットします。

- >>>import matplotlib.pyplot as plt
- >>> import japanize_matplotlib
- >>> o_df = df['office'].value_counts()
- >>> plt.**title**('オフィス分布')
- >>> plt.pie(o_df.tolist(), labels=o_df.index.tolist())
- >>> plt.**show**()



Vtuberのランキング上位30件において、 にじさんじの比率が圧倒的に高いことが わかります。

その他主要事務所についてはおおむね、 大きな差分が出ていないことがわかりま す。

データ集計: pandas: 条件付き集計



にじさんじに所属するVtuberは以下のように絞り込むことができます。

>>> df[df['office']=='にじさんじ']

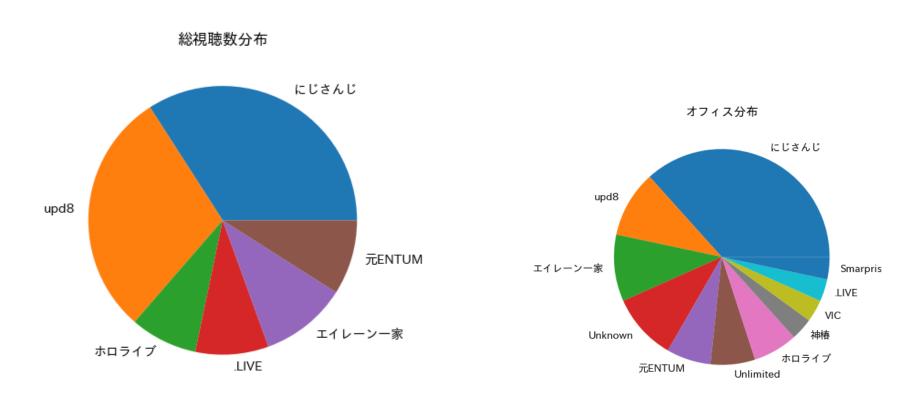
ここからにじさんじ全体での総視聴数を以下のように集計できます。

>>> df[df['office']=='にじさんじ']['**view**'].**sum**() 405786855

プロット: 円グラフ: オフィス毎総視聴数



主要オフィスの総視聴数の比率をグラフにプロットすると以下です。



所属オフィス分布ではにじさんじの比率が著しく高かったですが、 VTuberの配信力(総視聴数)で言うと、upd8が拮抗しています。

クラウドAPI: Twitter



Twitter APIはTwitter社が外部公開しているWebAPI(クラウドAPI)サービスです。

Twitter社に申請すると、APIを使用するためのアカウント情報が提供されて無償で使用できます。

因みに私はTwitter社と「申請の説明が足りないですよ、どんなことにAPIを使うのですか?」というメールを3回ほどやりとりして承認もらいました。 まあまあ大変。

申請手順は以下のサイト参照

https://qiita.com/kngsym2018/items/2524d21455aac111cdee

クラウドAPI: Twitter



TwitterのプロフィールからYoutubeアカウントを抽出したい。



クラウドAPI: Twitter



APIはWebのお作法で直接叩けますが、pythonのTwitter APIライブラリが世の中にいくつかあるのでそれを使います。ここでは **tweepy**というライブラリを使います。

以下はミライアカリのTwitterアカウントから、youtube URLを取得するコードです。

import tweepy

auth = tweepy.OAuthHandler(CONSUMER_KEY, CONSUMER_SECRET)
auth.set_access_token(ACCESS_TOKEN, ACCESS_TOKEN_SECRET)
api = tweepy.API(auth , wait_on_rate_limit = True)

user = api.get_user(screen_name='MiraiAkari_prj')
youtube = user.entities['description']['urls'][0]['url']

4つのアカウントキーを渡してAPIインスタンスを生成し、APIインスタンスを使って、twitterユーザ情報にアクセスしています。今回はurl配列の先頭に格納されていますが、常にそうだとは限らないため、正規表現等を駆使して探し出す必要があります。

並列実行



ランキングサイト(50人分)をスクレイピングするにあたり、並列実装を試して 通常コードと処理時間を比較してみました。

(1) マルチプロセス使用時

real **0m9.522s**

user 0m4.188s

sys 0m0.719s

(2) スレッド使用時

real **0m16.455s**

user 0m4.016s

sys 0m0.547s

(3) プロセス、スレッド非使用時

real **1m10.050s**

user 0m3.875s

sys 0m0.422s

並列実行



マルチプロセス(自宅PC4コアのパワー)が最も高速に動作する。 グローバルロックのからみでスレッド処理にやや弱いとされるpythonだが、 マルチスレッドによる効果も高いことがわかる。

スクレイピング処理において、Webページ取り込みの「待ち」が占めている時間が (予想通りといえば予想通りだが)大きいことがわかる。

また、実行コンテキストAの任意の処理が終わらないと、実行コンテキストBの任意の処理が停止する、等の実行コンテキスト間の依存関係がゼロなのも、本結果には効いている。

並列実行:スレッド:コード例



from concurrent.futures import **ThreadPoolExecutor**

with **ThreadPoolExecutor**(max_workers=4) as executor:

for n in range(len(vtubers)):

← 起動スレッド数ループ

executor.**submit**(self._profile, vtubers[n]) ← スレッド関数(引数)呼出し

ThreadPoolExecutorモジュールを使うと簡単に実装できる。 max_workersは同時に実行するタスクの数。ここではVTuber4人分の サイトを同時処理。4 => 8にすると2,3秒短縮されるが、8 => 16にすると 逆に遅くなる。うちのPCは4コア8スレッドなので、上限を超えるとスレッド化の効 果が薄くなる、と思われる。

並列実行:マルチプロセス:コード例



from concurrent.futures import **ProcessPoolExecutor**

```
r\_list = [] with ProcessPoolExecutor() as executor: for n in range(len(vtubers)): \leftarrow 起動プロセス数ループ r\_list.append(executor.submit(self.\_profile, vtubers[n])) <math>\leftarrow プロセス起動 u\_vtubers = [] for r in r\_list: u\_vtubers.append(r.result()) <math>\leftarrow プロセス間データ通信による受取り。
```

ProcessPoolExecutorモジュールは、ThreadPoolExecutorと全く同じインタフェースを持っている。つまり、マルチスレッドかマルチプロセスなのか、その違いを ほぼ意識せずに実装可能。

並列実行:マルチプロセス:コード例



ただし、実行したい関数は複数の異なるプロセス空間で並列実行されるので、 マルチスレッドのようにはデータ共有できない。

引数で渡しているvtubers[n]は**プロセス間通信でコピーが転送**されるので、self._profile関数内で編集しても元のvtubersには反映されない。

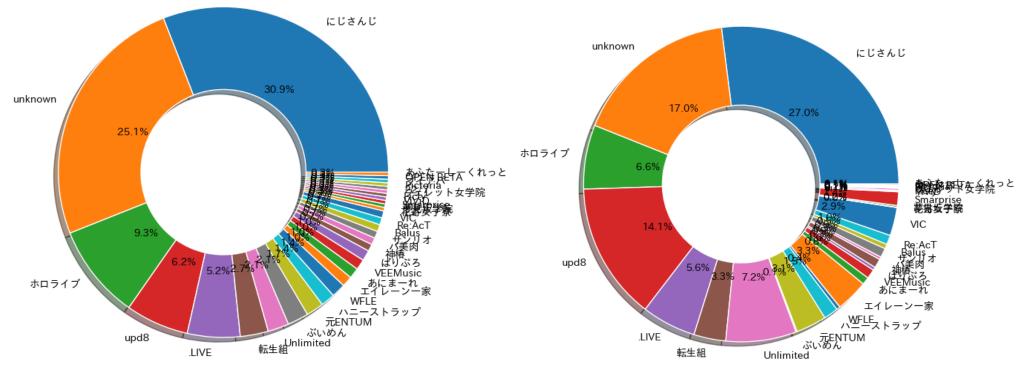
ProcessPoolExecutorは引数同様、関数の戻り値もプロセス間通信で転送してくれるので、この値を参照するために、戻り値をresult()で抽出する。これが唯一、マルチプロセスを意識したコードとなるし、場合によってはこれがネックとなり、マルチプロセスの効果が弱まる。

おまけ: VTuber勢力分布(ランク上位300位まで)



office 分布 (総計: 291人)

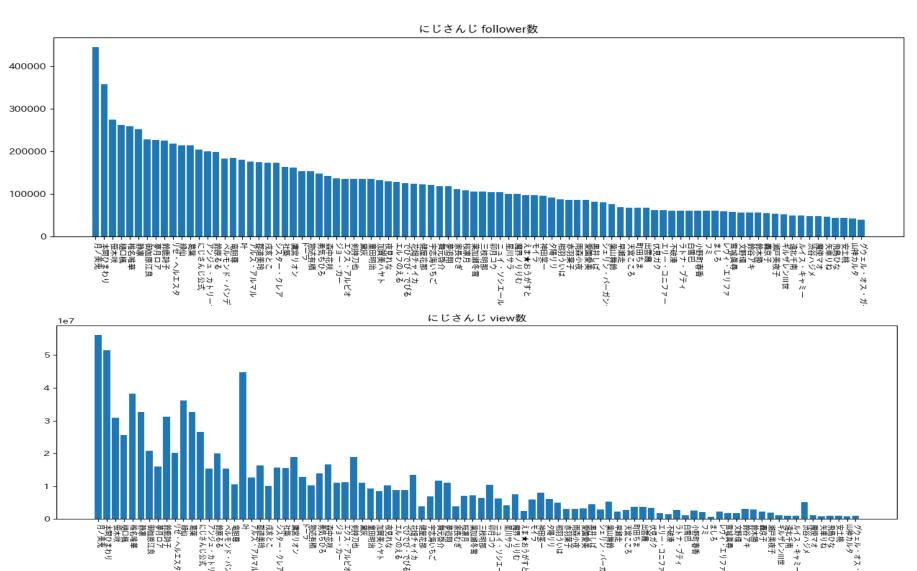




おまけ: Vtuber毎の配信力(にじさんじ)

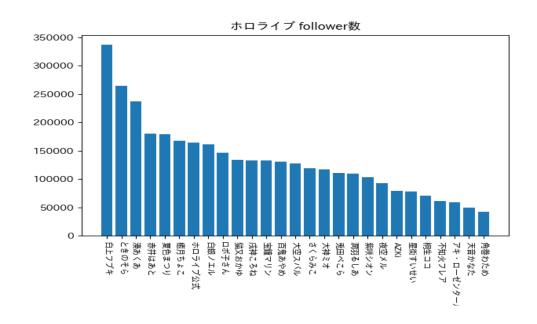


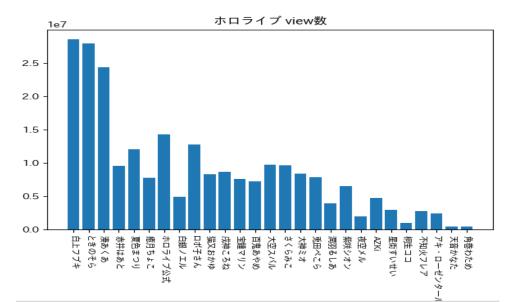
フォロワー数で降順にプロットした時の、総視聴数の伸び。



おまけ: Vtuber毎の配信力(ホロライブ)

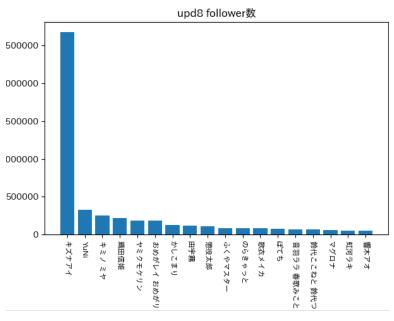


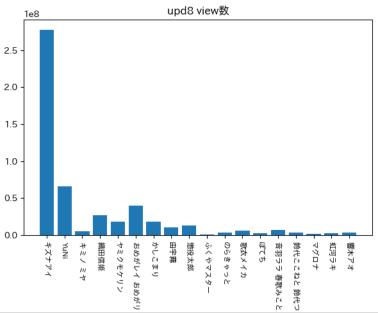


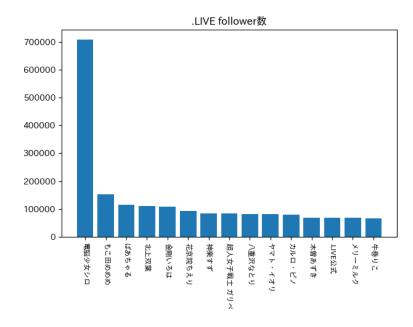


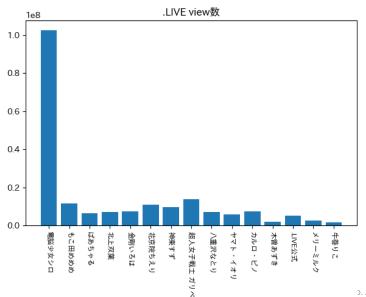
おまけ: Vtuber毎の配信力(upd8、.LIVE)





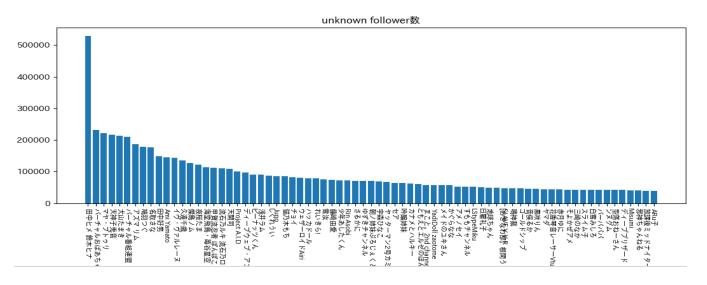


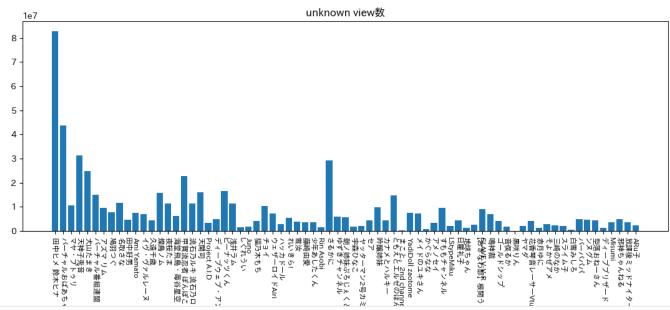




おまけ: Vtuber毎の配信力(unknown)

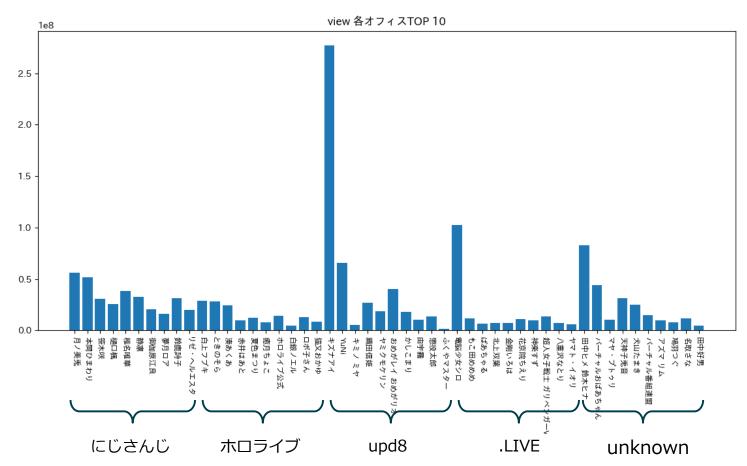


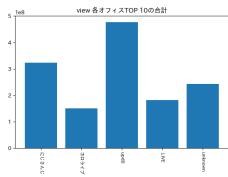




おまけ:各オフィスTOP10比較



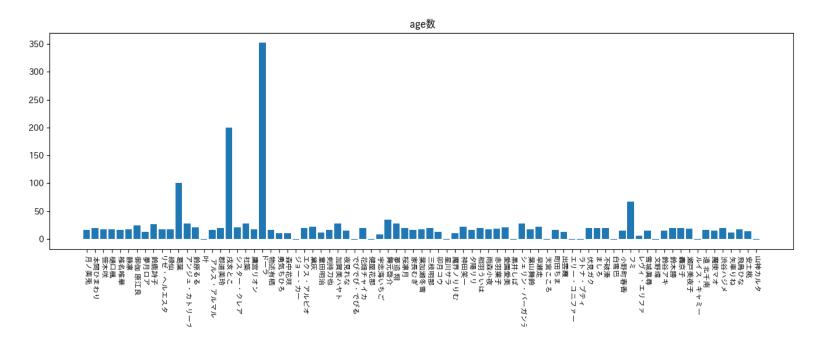


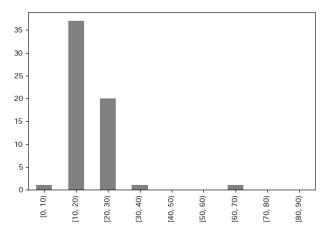


10人の合計でも特定 Vtuberのおかげで 他オフィスがupd8を凌 駕できない。

おまけ:年齢分布(にじさんじ)



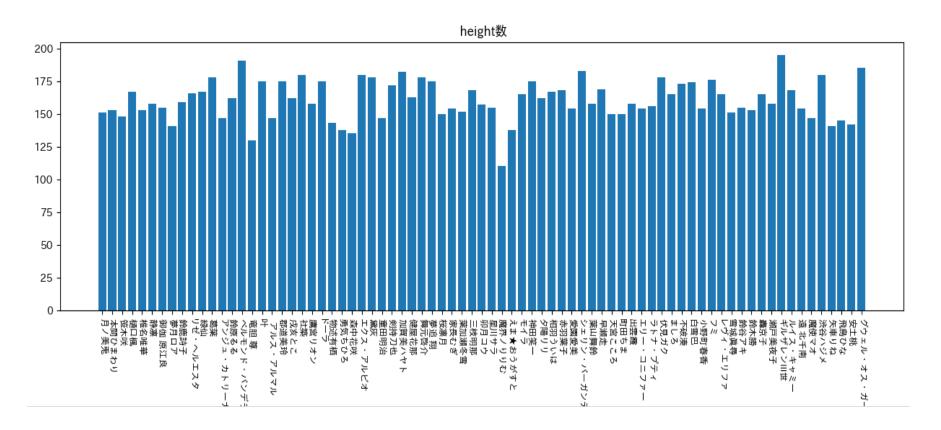




一部突出したデータが混ざっているが、概ね10代、20代に集中している。

おまけ:身長分布(にじさんじ)





環境構築



Pythonに関する様々なライブラリをまとめて入れてくれる Anacondaを使います。

- 1. Anacondaのダウンロードページへ行く https://www.anaconda.com/distribution/
- 2. Python3.7バージョンをDLする。 OSによって32ビット、64ビットを間違えずに。
- インストール
 オプションはすべて表示されたままで進む。
- 5. Anaconda Promptの起動 いわゆるターミナル。Windowsの左下の検索窓からanaconda promptと打つと 候補の中に現れる。
- 6. Matplotlib日本語パッチを当てる。5のターミナルの中で以下のように打つ。pip install japanize_matploglib

課題1:回答



- >>>import re
- >>>text = '彼の体重は50kgだが、身長は180cmもある。'
- >>>re.search('[0-9]{3}cm', text)

課題2:回答



見出し(h1)

>>> bs.**h1**

<h1>VTuberとは?</h1>

>>> bs.h1.**text**

'VTuberとは?'

強調(b)

>>> bs.**b**

別名:VTuber、Vチューバー(ブイチューバー)。

>>> bs.b.**text**

'別名: VTuber、Vチューバー(ブイチューバー)。'

課題2:回答



段落(p)

>>> bs.**p**

>

バーチャルYouTuber(バーチャルユーチューバー)は、YouTuberとして動画配信・投稿を行う

コンピュータグラフィックスの日本発祥のキャラクター(アバター)、

またキャラクター(アバター)を用いて動画投稿・配信を行う人。

>>> bs.p.**text**

'¥nバーチャルYouTuber(バーチャルユーチューバー)は、YouTuberとして動画配信・投稿を行う¥nコンピュータグラフィックスの日本発祥のキャラクター(アバター)、¥nまたキャラクター(アバター)を用いて動画投稿・配信を行う人。¥n'

くすが取り払われ、HTMLにおける改行タグである
>は通常の改行コード(¥n)に変換されます。

課題3:回答



>>> bs.table.find_all('tr')[2].td.text '46kg'

課題4:回答



>>> [tr **for** tr **in** bs.table.find_all('tr') **if** '体重' in tr.**th**.**text**][0].td.text '46kg'

リスト内包表記を使って、条件に一致するテーブルを探しています。 ここではレコードのヘッダに「体重」という文字列を含むものを探しています。

リスト内包表記の結果、(今回はヘッダに体重とあるのは一件だけなので)、 配列の先頭が目的のレコードであり、そのデータ(td)のテキストを抽出します。

課題5:回答



- >>> import re
- >>> re.**search**('[0-9]{2}kg', bs.**table.text**)
- <re.Match object; span=(25, 29), match='46kg'>

前項で説明したように、BSによりテーブル全体のテキストが取得できます。 '¥nプロフィール¥n¥n年齢16歳¥n身長156cm¥n体重**46kg**¥n¥n'

ここから**正規表現**により体重データを抽出します。

因みにre.searchの結果は配列なので、以下のようにアクセスできます。 >>> re.search('[0-9]{2}kg', bs.table.text)[0] '46kg'

課題6:回答



>>> bs.find('div', {'class':'office'}).table.**find_all**('**tr**')**[1].td.text** 'upd8(アップデート)'

サンプル2で触れたように、テーブル内には複数のレコードが存在するため、find_allで探し出して、プロジェクト名が格納されている二つ目のレコードにアクセスします。

課題7:回答



各テーブルにはテーブルのタイトル(caption)が格納されています。 まず、そのタイトルが一致するテーブルを探し出します。

>>> target_table = [table **for** table **in** bs.find_all('table') **if** '事務所' **in** table.**caption.text**]

後は今まで同様に、見つけたテーブルから「体重」データを抽出します。

>>> [tr **for** tr **in** target_table[0].**find_all**('tr') **if** 'プロジェクト' **in** tr.th.text]**[0].td.text** 'upd8(アップデート)'

課題8:回答



```
from bs4 import BeautifulSoup
import requests
html = requests.get('https://virtual-youtuber.userlocal.jp/document/ranking')
bs = BeautifulSoup(html.text, 'html.parser')
vtubers = [tr for tr in bs.find('table', {'class': 'table-ranking-yt'}).find_all('tr')]
profiles = []
for vtuber in vtubers:
   name = vtuber.a.img['alt']
   rank = vtuber.strong.text
   html = requests.get('https://virtual-youtuber.userlocal.jp' + vtuber.a['href'])
   bs2 = BeautifulSoup(html.text, 'html.parser')
   follower = bs2.find('div', {'class': 'box-channel-info'}).find_all('div', {'class': 'channel-
stat'})[0].text.split('\u00e4n')[2]
   view = bs2.find('div', {'class': 'box-channel-info'}).find all('div', {'class': 'channel-
stat')[1].text.split('\forall n')[2]
  try:
      office = bs2.find('div', {'class': 'box-office'}).text.strip()
   except AttributeError:
      print('scraping error : {}'.format(name))
      office = 'Unknown'
   profiles.append((name, rank, office, follower, view))
```

課題9:回答



```
>>>c.execute('INSERT INTO vtuber(name, office, follower, view) VALUES("白上フブキ", "ホロライブ", 381000, 35205441)')
>>> for v in c.execute('SELECT * FROM vtuber'):
... print(v)
...
('キズナアイ', 'upd8', 2690000, 283505794)
('白上フブキ', 'ホロライブ', 381000, 35205441)
```